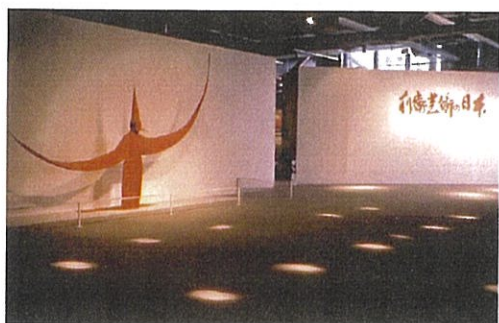


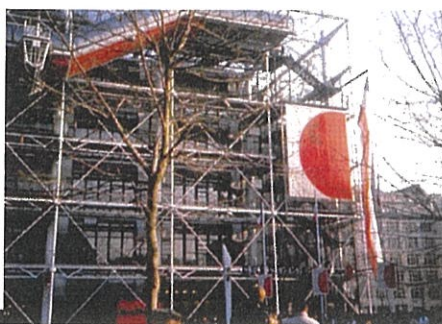
前衛芸術の日本

1910-1970

記録映像上映会



展示会場入口 白髪一雄《超現代三番叟》1957/1986 年
Photo©Noriaki Okabe



ポンピドゥー・センター外観 1986 年 Photo ©Noriaki Okabe

「前衛芸術の日本 1910-1970」とは、パリのポンピドゥー・センターで1986年末に開催された、1910年から1970年までの前衛芸術を総括した展覧会。同館チーフ・キュレーターのジェルマン・ヴィアットと高階秀爾がコミッショナーを務め、3,600平方メートルの展示空間に、造形美術、建築、工芸、デザインなど、700点以上の作品資料を展示。萬鉄五郎、岡本太郎、もの派といった美術作品、工業製品、倉俣史朗の家具や日本家屋に至るまで、日本の芸術、文化、歴史は、フランス国内外の人々を魅了し、大きな反響を呼びました。また、日本国内でも日本の現代美術を見直すきっかけにもなり、この観点からも記念碑的な展覧会と位置づけられています。

会場：興風会館 大ホール

上映期間：

12月 7日（日）

12月 13日（土） - 14日（日）

上映時間：10：30 ～ 16：30（17:00 閉館）

上映時刻：10:30 ～ 11:30 ～ 12:30 ～ 13:30 ～
14:30 ～ 15:30 ～ ※予約不要・無料でご覧いただけます。

● 1回の上映は約60分です。映像は繰り返し上映されます。

岡部あおみ氏の解説動画約30分 + 会場記録映像30分

BUNDLESTUDIO × Wamono art+